

学校占拠事件から1年

今、ロシアとチェチェンはどうなっているのか？

(ノンフィクションライター) **林克明** + **稲垣収** (フリージャーナリスト・翻訳家)



ロシア軍の爆撃で重傷を負った女性。
チェチェン・スタールイアタギで
撮影：林克明 1999. 11. 15

北オセチア共和国、バスランを舞台に発生した学校占拠人質事件から、早くも1年が経過しました。いまだにロシア政府が事件についての報告を発表しない一方、チェチェンの野戦司令官はロシア当局の関与を暴露する声明を発表し、バスランの裁判所での多数の証言もこれを裏付けようとしています。

この学校占拠事件には、深刻な背景として、1994年から続くチェチェン戦争が存在します。チェチェン戦争は、あるいはロシアは、今どのような状況なのでしょう。今回の報告会では、ロシアとチェチェンをウォッチする二人の識者、林克明さんと稲垣収さんから、現在の状況と展望を聞きます。

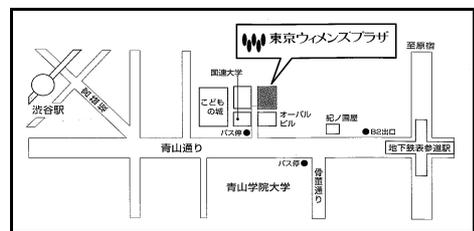
今年11月、プーチン・ロシア大統領が訪日します。わたしたちチェチェン連絡会議では、この訪日に向けて、ロシアからチェチェン報道の第一人者であるアンドレイ・バビツキー記者を招待してスピーキングツアーを行います。また、訪日のさいには各種の抗議行動を行い、チェチェン戦争に反対する声を高めていきたいと考えています。

ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

2005. **9.24**(土) 午後6:30 東京ウィメンズプラザ視聴覚室B 参加費 500円

司会：青山正（市民平和基金・ピースネットニュース代表） ●会場：東京ウィメンズプラザ視聴覚室B（66人収容） ●交通：JR山手線・東急東横線・京王井の頭線：渋谷駅下車徒歩12分／地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線：表参道駅下車徒歩7分／都バス（渋88系統）：渋谷駅からバス4分青山学院前バス停下車徒歩2分

●主催：チェチェン連絡会議 ●連絡先：チェチェンニュース編集室
146-0082 東京都大田区池上6-30-17 大富方 ●電話+ファックス：050-3329-3951
メール：ootomi@chechennews.org サイト：http://chechennews.org/



報告者のプロフィール

林克明（はやし・まさあき）

ノンフィクションライター。1960年長野生まれ。95年から1年10ヶ月モスクワに住み、チェチェン戦争を取材。2001年、＜バビツキー事件＞（ロシアのジャーナリストA・バビツキー氏がロシア政府に弾圧された事件）などに取材した「ジャーナリストの誕生」で第9回週刊金曜日ポルタージュ大賞受賞。著書に『カフカスの小さな国 チェチェン独立運動始末』（第3回小学館ノンフィクション大賞優秀賞）。近刊に写真集『チェチェン 屈せざる人びと』（岩波書店刊）、共著に『チェチェンで何が起きているのか』（大富亮との共著、高文研刊＝右の画像）。



稲垣収（いながき・しゅう）

フリージャーナリスト・翻訳家。1962年東京生まれ。91年のソ連崩壊前後からロシア、ウクライナ、バルト三国を取材。ビデオジャーナリストとしてグルジア、モルドヴァ内戦などのドキュメンタリーも制作。ガイダル・元ロシア首相代行へのインタビューなども。またユーゴ、イスラエルなど、紛争地でも取材してきた。翻訳書に「アウト・オブ・USSR—“天国”からの脱出」（J・サンダレスク著／小学館）などがある。

主催団体：チェチェン連絡会議について

「チェチェン連絡会議」は、チェチェン戦争の平和的解決のために活動しているNGOと個人が集まり、この問題への関心を日本の社会で喚起するために、2005年6月に結成されました。この戦争を少しでも早く終わらせるために、日本の国内でロシア軍の侵攻に反対する声を高め、各国の支援組織との連携を深め、国際世論としてのチェチェン戦争反対、ロシア軍の撤退を強く要求していきたいと考えています。ぜひみなさまのご協力と、参加をおねがいします。

集会運営、ニュースレター発行、通訳、翻訳などのボランティアとしての参加、スピーキングツアーなどをはじめとする活動へのカンパなど、さまざまな形で参加が可能です。チェチェン戦争の解決のために、みなさんの参加をお待ちしています。

AP Photo/Maxim Marmur



Andrei Babitsky after meeting with Interior Ministry investigators in March

アンドレイ・バビツキー氏を日本に呼ぼう！

チェチェン連絡会議では、10月下旬に、ロシアのジャーナリスト、アンドレイ・バビツキー氏を日本に招き、チェチェン情勢の現在と今後を聞く会を準備しています。米国系放送局「ラジオ・リバティー」の記者であるバビツキー氏は、99年以来の幾度にもわたるチェチェン潜入取材を敢行し、チェチェンへの侵略を暴く報道姿勢から、繰り返しロシア政府の弾圧を受けてきました。2000年には、「バビツキーは敵だ」とするロシア政府に誘拐された上、チェチェン独立派を騙る武装勢力に引き渡されるなど、彼の受けてきた扱いそのものが、チェチェンに対して仕掛けられた戦争の謀略を示唆していると言えます。その後4年間にわたってチェチェンに入ることができずにいましたが、2005年8月にチェチェンのシャミーリ・バサーエフ司令官に対する直接取材に成功し、そのインタビューの米国での公表をめぐって、またもロシア政府を激怒させました。

この招待は助成等を得ず、市民のカンパによって行われます。いまのところ、資金は大変不足しています。どうかみなさまのご協力をおねがいします。わずかでも結構です。下記の口座へのお振込みをお願いします。

（呼びかけ人：青山正／林克明／大富亮）

チェチェンニュースを読もう！

インターネットでは、メールマガジン「チェチェンニュース」（購読無料）と、Webサイト「チェチェン総合情報」を通じて最新情報を提供しています。可能な方はぜひお読みください。URLは、<http://chechennews.org/>です。このサイトでメルマガの登録もできます。

カンパをお願いします！ 郵便振替口座番号：00180-6-261048 口座名称：チェチェン連絡会議